

令和5年度 狭山市立入間川中学校 学校関係者評価

※【評価の目安】 A:良くできている。 B:概ねできている。 C:あまりできていない。 D:できていない

領域	番号	評価項目	自己評価		学校運営協議会委員の意見
			評価	説明	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・学校経営方針や重点目標、学校の様子については、学校公開の機会は限られてしまったが、学校だより等の発信を継続した。保護者アンケートの結果は91.5%(A+B)であった。 ・入間川中が好きと答えた生徒は平均で92.8%(A+B)であった(3年は96.4%、2年92.8%、1年90.5%)。学校行事を通して自主性を伸ばすという本校の強みを検証し、CやD評価の生徒にも心を配って教育活動に取り組む。 ・少ない教職員数ではあるが、生徒の支援に力を惜しまず皆で協力して取組もうとする雰囲気がある。今後も情報共有の重要性を忘れることなく円滑な教育活動を展開する。	・「入間川中が好き」と答えた生徒の割合が、学年が進むにつれて高くなっていることは、川中における学習が年と共に生徒に浸透していることを示しており、素晴らしいことだと思います。 ・コロナウイルス禍などの制約があった中、何とかして、諸行事(体育祭、なでしこ祭、ロードレース、宿泊学習、修学旅行など)を実施しようとした努力は見事だったと思います。それらを通して生徒達の自主性や達成感が育ったとする先生方の評価は、十分頷けます。
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・少ない教職員数ではあるが、生徒の支援に力を惜しまず皆で協力して取組もうとする雰囲気がある。今後も情報共有の重要性を忘れることなく円滑な教育活動を展開する。 ・清掃は無言清掃とし、A+B=94.2%の生徒が一生懸命出来たと回答した。今後も自主性の向上を目指し、心にひびく指導を工夫する。	・校長先生をはじめ諸先生方が学校をよくしようという熱意が感じられた。学校行事を通して生徒たちが生き生きと活動している姿を感じ取ることができた。それによって教職員が協力し教育活動している事もよく理解できた。 ・先生方の心に響く指導、自主性の向上を目指す指導が評価Aに表れているとします。地域の協力による環境整備、先生方による安全管理評価Aは、努力の賜物だと思います。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・地域の協力を得て除草や樹木剪定等ができていることに大変感謝している。また、おやじの会に体育倉庫、外部室の塗装をしていただいた。教職員は定期的に安全点検を実施し、施設・設備の老朽化に伴う修繕もあるが、迅速に対応している。今後は、生徒も巻き込んで安全を高めたい。	・生徒評価の「相談しやすい先生がいた」では、C、Dの生徒がいますので、C、D評価の生徒への温かい対応をお願いします。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	・地域の協力を得て除草や樹木剪定等ができていることに大変感謝している。また、おやじの会に体育倉庫、外部室の塗装をしていただいた。教職員は定期的に安全点検を実施し、施設・設備の老朽化に伴う修繕もあるが、迅速に対応している。今後は、生徒も巻き込んで安全を高めたい。	・先生方の心に響く指導、自主性の向上を目指す指導が評価Aに表れているとします。地域の協力による環境整備、先生方による安全管理評価Aは、努力の賜物だと思います。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	・地域の協力を得て除草や樹木剪定等ができていることに大変感謝している。また、おやじの会に体育倉庫、外部室の塗装をしていただいた。教職員は定期的に安全点検を実施し、施設・設備の老朽化に伴う修繕もあるが、迅速に対応している。今後は、生徒も巻き込んで安全を高めたい。	・先生方の心に響く指導、自主性の向上を目指す指導が評価Aに表れているとします。地域の協力による環境整備、先生方による安全管理評価Aは、努力の賜物だと思います。
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・保護者からは分かりやすい授業について73.5%(A+B)であるが(昨年度よりプラス0.8%)、生徒の「学ぶ内容がわかった」の項目はA+B=95.7%であり、保護者と生徒の捉え方に差があった。保護者の希望に沿った学習内容となるよう授業改善していく。また、生徒と保護者のコミュニケーションが希薄化が心配される。	・各教職員の方々が熱意と工夫をしながら生徒に教育しようとする姿勢を公開授業や学校運営協議会の際にも確認させていただきました。引き続き、創意工夫や興味・関心を持つための取り組みを継続してください。 ・朝学習や放課後学習会など、復習の時間を増やす地道な努力が、多くの生徒の基礎学力を確実にしているものと思います。また、毎日、自主学習ノートを開き、何かを調べる(授業で理解できなかったことなど)習慣が身につくと、その効果は大きいので、是非、継続していただきたい(義務化しても)です。学習会の支援や自習ノートのチェックなどには地域の人(SSVCなど)も十分サポートをしてくると思います。
	7	生徒は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	A	・生徒は落ち着いた授業を受けている。県学力・学習状況調査の結果は、全体的に県平均を上回る結果であった。さらに「学力の伸び」においては県平均を上回る領域が多く、少数指導や朝学習、放課後学習会など学習支援の成果がみられた。全国学力・学習状況調査の結果も、国語・英語において、全国平均を上回る結果となった。質問紙から「話を聞き発表する」に課題がある。集会や学活等で相手の話をよく聞き理解したか、フィードバックする取り組みを実施していく。	・学力・学習状況調査が国や県平均を上回っているのは、先生方のきめ細かい指導の成果だと感じます。 ・公開授業などで、生徒たちの様子を見学し、落ち着いた学習し、意欲的に取り組んでいるように感じた。学力は個人差があるので、学校の授業だけでは難しく、家庭環境にも大きく左右される。家庭学習においては、精神的にまだ中学生には達成できていない生徒もいて定着することは困難な場合もある。家庭での支援が重要。
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	・生徒は落ち着いた授業を受けている。県学力・学習状況調査の結果は、全体的に県平均を上回る結果であった。さらに「学力の伸び」においては県平均を上回る領域が多く、少数指導や朝学習、放課後学習会など学習支援の成果がみられた。全国学力・学習状況調査の結果も、国語・英語において、全国平均を上回る結果となった。質問紙から「話を聞き発表する」に課題がある。集会や学活等で相手の話をよく聞き理解したか、フィードバックする取り組みを実施していく。	・学力・学習状況調査が国や県平均を上回っているのは、先生方のきめ細かい指導の成果だと感じます。 ・公開授業などで、生徒たちの様子を見学し、落ち着いた学習し、意欲的に取り組んでいるように感じた。学力は個人差があるので、学校の授業だけでは難しく、家庭環境にも大きく左右される。家庭学習においては、精神的にまだ中学生には達成できていない生徒もいて定着することは困難な場合もある。家庭での支援が重要。
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	・家庭学習の取組向上のため、自主学習ノートに取り組んだ。計画的な家庭学習の取組への生徒評価はA+B=72.6%(昨年度よりプラス10.1%)。タブレット端末やオンラインの活用などICT環境の整備を進め、自分の学びを形成できる学習者を育成する。	・学力・学習状況調査が国や県平均を上回っているのは、先生方のきめ細かい指導の成果だと感じます。 ・公開授業などで、生徒たちの様子を見学し、落ち着いた学習し、意欲的に取り組んでいるように感じた。学力は個人差があるので、学校の授業だけでは難しく、家庭環境にも大きく左右される。家庭学習においては、精神的にまだ中学生には達成できていない生徒もいて定着することは困難な場合もある。家庭での支援が重要。
	10	生徒は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A	・英語の授業では積極的にコミュニケーションの場を設定するとともに、ALTの学習支援、少数指導を展開した。	・学力・学習状況調査が国や県平均を上回っているのは、先生方のきめ細かい指導の成果だと感じます。 ・公開授業などで、生徒たちの様子を見学し、落ち着いた学習し、意欲的に取り組んでいるように感じた。学力は個人差があるので、学校の授業だけでは難しく、家庭環境にも大きく左右される。家庭学習においては、精神的にまだ中学生には達成できていない生徒もいて定着することは困難な場合もある。家庭での支援が重要。
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	A	・「あいさつ」の項目では生徒A+B=97.6%と自己評価が高く、教職員からもA+B=95%であった(昨年よりプラス12.6%)。地域の方から生徒に「あいさつされてうれしい」という声もいただくことがある。どの場面を切り取るかにより評価も変わるが、さわやかなあいさつを自分からできる生徒の育成を目指す。	・入間川中は、学年が進むにつれ大きな成長をしている所が良いですね。3年生が良いお手本になっていますね。(挨拶、行事への取り組み、学習態度など) ・生徒たちは、中学生らしく規律ある態度ができ、言葉遣いも問題ないように思う。登校中の生徒たちは、交通ルールを守り他者に迷惑をかけないように行動している。 ・生徒が規律ある態度を身につけるには、家庭における保護者の生活態度、及び、学校における先生方の様々な場面における態度が規範になることは言をまちません。弛んだ態度を一時でも見せてしまえば、生徒たちも容易に弛んでしまうと思います。反面教師などと言う裏技もありますが、是非、正攻法でお願いします。
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A	・保護者からは礼儀、清掃、時間等の基本的な生活習慣の育成についてはA+B=92.1%という高評価をいただいている。教職員からの評価も毎年向上している。年間で物品の破損がととも少ない。基本的な生活習慣の育成に関しては、家庭、地域とともに連携をとり取り組んでいく。	・春から比べても生徒からの「あいさつ」は格段に向上していると思います。やはり、教職員の方々が意識して自ら率先されることで生徒にもつながり、結果として、生徒が主体的に実践できている。今後の将来にも大切なことですので、引き続きの取り組みをお願いします。 ・校内では来客等にあいさつが出来るが、一步学校から出ると、あいさつが出来ていない。
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A	・生徒は決まりを守り、落ち着いた学校生活を送ることができている。仲間を大切にする意識も高い。また、将来に対する夢や希望を持っている生徒も多い。制約の中でもできる限り学校行事を実施できたことが、生徒の達成感や自己有用感の高揚につながっている。今後も生徒が主役となる指導を継続していく。	・春から比べても生徒からの「あいさつ」は格段に向上していると思います。やはり、教職員の方々が意識して自ら率先されることで生徒にもつながり、結果として、生徒が主体的に実践できている。今後の将来にも大切なことですので、引き続きの取り組みをお願いします。 ・校内では来客等にあいさつが出来るが、一步学校から出ると、あいさつが出来ていない。
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A	・生徒は決まりを守り、落ち着いた学校生活を送ることができている。仲間を大切にする意識も高い。また、将来に対する夢や希望を持っている生徒も多い。制約の中でもできる限り学校行事を実施できたことが、生徒の達成感や自己有用感の高揚につながっている。今後も生徒が主役となる指導を継続していく。	・春から比べても生徒からの「あいさつ」は格段に向上していると思います。やはり、教職員の方々が意識して自ら率先されることで生徒にもつながり、結果として、生徒が主体的に実践できている。今後の将来にも大切なことですので、引き続きの取り組みをお願いします。 ・校内では来客等にあいさつが出来るが、一步学校から出ると、あいさつが出来ていない。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	・全教職員がチームとして、礼儀指導(あいさつ)、清掃指導、時間を守る指導に臨むなど、凡事徹底を意識して実践している。	・春から比べても生徒からの「あいさつ」は格段に向上していると思います。やはり、教職員の方々が意識して自ら率先されることで生徒にもつながり、結果として、生徒が主体的に実践できている。今後の将来にも大切なことですので、引き続きの取り組みをお願いします。 ・校内では来客等にあいさつが出来るが、一步学校から出ると、あいさつが出来ていない。
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	A	・今年度も「心と体を鍛える」という目標をもち、感染症対策とともに長距離走(全身持久力向上)に力を入れて取り組んだ。校内ロードレース大会に向け、体力向上コースをつくり、生徒たちの自主性のもと、持久力向上に努めた。	・地域の皆さんのご理解とご協力あつての行事(ロードレース大会)、日頃より外で活動する場合は、今後とも挨拶はしっかりとさせていただきますね。 ・本学校の取り組み、授業で生徒に対する情熱から、体力を向上させようとする意識は強く感じます。また、ロードレースについても、一部の苦情はありながら、生徒のためにも継続して頂きたいと思います。また、PTA連絡や社会教育課に対しても、素晴らしい取り組みを発信していきます。
	17	生徒は、体育や健康増進の実践に意欲的に取り組んでいる。	A	・新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない。マスク着用の指示が無くなり、コロナ前の生活が戻り始めた。しかしながら、インフルエンザ等の流行もあるため、健康観察、手洗いと消毒、換気など継続指導している。また、給食指導を通して、食に対する意識を高めている。	・HPやスクリーン等による情報発信により、地域や保護者との連携がよくなり、状況がうかがえます。 ・地域と連携し、鶴ノ木祭り、七夕まつりで生徒と交流でき、自治会の行事参加やボランティアを通して地元と根付けた活動ができ、活性化に貢献できた。
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	B	・今年度も「心と体を鍛える」という目標をもち、感染症対策とともに長距離走(全身持久力向上)に力を入れて取り組んだ。校内ロードレース大会に向け、体力向上コースをつくり、生徒たちの自主性のもと、持久力向上に努めた。	・名実共に地域の学校であるよう、学校(生徒や先生)が地域に積極的に出て行くこと、地域の方が学校に入りながら得る機会を多く持つことなど、やはり、学校主導にたどるべき道を、学校が抱える課題を率直に地域に持ちだして協力を求めるなど、学校運営協議会の活動が鍵を握っているものと思います。
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・情報提供に関する保護者関連評価項目ではA+B=91.5%であった(前年よりプラス2.7%)。可能な範囲で学校行事等の保護者への公開が実施できた。また、学校だより、HP、スクリーン、さやまっ子緊急メールなどを使用して、学校の情報を積極的に配信できた。	・HPやスクリーン等による情報発信により、地域や保護者との連携がよくなり、状況がうかがえます。 ・地域と連携し、鶴ノ木祭り、七夕まつりで生徒と交流でき、自治会の行事参加やボランティアを通して地元と根付けた活動ができ、活性化に貢献できた。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	・地域の活動である鶴ノ木祭り、赤間川清掃、入間川百人一首大会に多くの生徒がボランティアとして参加した。また、地域の方々との協力による学校の環境整備も実施できた。特に体育祭の熱中症対策用の自治会テントの設置や除草作業に、おやじの会や多くの地域の方が協力してくれた。	・名実共に地域の学校であるよう、学校(生徒や先生)が地域に積極的に出て行くこと、地域の方が学校に入りながら得る機会を多く持つことなど、やはり、学校主導にたどるべき道を、学校が抱える課題を率直に地域に持ちだして協力を求めるなど、学校運営協議会の活動が鍵を握っているものと思います。